

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	未来保育 CLUB
所在地	東京都町田市中町 1-31-4NTT 町田ビル 1F
対象クラス	4 歳児・5 歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・自然物

<テーマの設定理由>

春から秋・冬へと季節が変わり、木々や草花の色や葉の付き方などの移り変わりを感じ取ったり、虫などの動きの変化などを感じる。また、お芋ほりで実の付き方や土などに触れてみる。

2. 活動スケジュール

10月~3月 戸外活動（散歩）
10月 遠足（生命の星・地球博物館）
11月 お芋ほり
2月遠足（きりん組のみ）

3. 探究活動の実践

<活動の内容>・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・散歩リュック ・図鑑（大・小） ・パソコン ・携帯電話 ・軍手 ・ビニール袋
・シャベル ・ビニール袋

きりん組のみ

・いた焼き用板 ・軍手 ・たわし ・雑巾 ・ポスターカラー

・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

散歩にでると気温の違いにまず気づき、「暑いね」「今日はもう暑くないね」「なんだか寒いね」と出てくる言葉が変化する。寒くなってくると手を古すり合わせ「こうするとあったかいんだよ」と教えてくれる。それを他児も真似してやってみては「あったかーい」と喜んでいて。公園の木の葉が赤くなっている様子を見て「みて！葉っぱの色が変わってる」と変化を見つけていた。大発見の様に保育者に伝え、その木の下に立ち止まり様子を眺めている姿があった。それを見て周りの子たちも落ち葉の中に赤い歯を見つけると目を輝かせながら報告していた。葉がたくさん落ちているところでは、落ちているのはなぜ？とも思ったようだがそれ以上にあまりにもたくさんの葉だったのでそのうえで寝てみたらどんな気持ちだろう、入ってみたいという思い、ワクワクの方が強く行動に移していた。たくさんの落ち葉に埋もれ「きもちいい」と一言。遠足では、普段から興味を持っていた石や、貝殻、昆虫の標本や動物の剥製などがある場所へ行く。「こんな大きな石は公園にないね」「虫の種類はこんなにあるの？」「この動物はどこから来たんだろう」等様々な疑問がわいていた様子が見られた。実際に手で触れるものは触って確認をしていた。お芋ほりでは、自分たちも保育園で野菜栽培の時の土と違いとても柔らかい土だといいいながら掘っていた。掘りながら、出てくる虫やミミズなどに驚きながらもミミズは何を食べるの？お芋？と疑問に思ったことを保育者に伝える。保育園に戻ってから図鑑などで調べるとかと思いきや、その時には興味がそれてしまっていた。お芋の実のつき方、個数などにも驚いた様子が見られた。きりん組のみの遠足では、雪が残っていて子ども達から触りたいというので外で遊ぶと雪の感触を確かめたり、雪について知っていることを伝え合ったりしていた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたちには、どんな小さな気づきでも大発見に値することが分かった。
 - ・子どもたちなりに季節をしっかりと感じ、受け止めていることが分かった。
 - ・子ども達の発する言葉に対して保育者がしっかりと向き合い共有・共感することで子ども達のワクワク度が上がっているような気がする。保育者から何かをしてあげるのではなく子どもたち発信のことももっと一緒に楽しんでみてもいいかもしれない。その方が、もっと子どもの探求心に触れていけるのではないか。
 - ・普段から虫や、動物にも興味がある子ども達にとって園外保育の場所は良かったのではないか。
 - ・園外保育での博物館は、見るだけでなく実際に触ったり音声での解説もあったりするので、とっさにきかれても一緒に説明を見ながら答えられることも多かったのではないか？ただ、時間があれば自分たちでその場で図鑑や携帯で写真をとったりもっと調べられるといいのかもしれない。
- た。・お芋ほりでは、土が柔らかくしかも保育園にあるよりも大量の土・畑なので、足を埋もれさせながらもこれから何があるんだろうとドキドキ・ワクワクが伝わってきた。
- ・掘り当てたお芋を見て「大きいね」「みて、何個もついている」という言葉から、どんなふうにお芋が育ってきたのか興味を持たれた様子が見えた。又、その畑にいた虫は何だったのかはずっと気になったようで、保育園に帰ってからも何人かで調べようとしていたので、お芋ほりの場にも念のため図鑑（小）をもっていけていたらよかったのかもしれない。
 - ・きりん組のみの遠足では、数日前に降った雪が残っていたことがよかった。雪の上に手がたをつけてみたり硬さ、冷たさを感じながらもみんなでどうやって遊ぼうか相談しながら楽しそうに遊ぶ様子が見られた。
 - ・いた焼きの板は、すでに見切られているものだが、板の表面を焼く、たわしでこする、雑巾で拭くという作業をすることで表面の変化を見ることができた。その様子を見た子ども達がとても不思議そうに眺めていたのが印象的であった。
 - ・自然のものに手を加えることで起きた変化を、体験できたのはよかったのではないかと思う。